


# ライオン通信



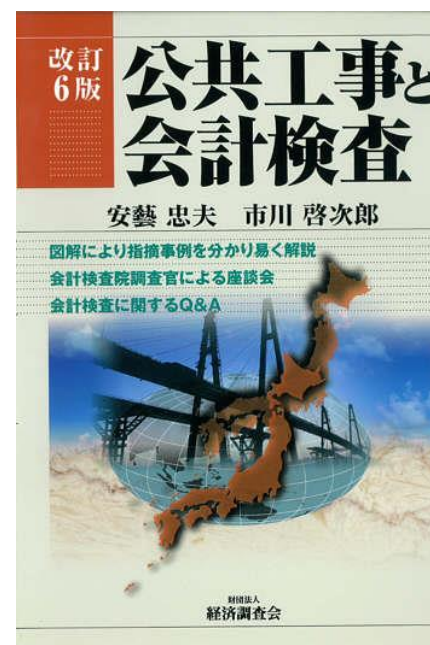
<URL><http://www.kooge.jp/>

Vol.26 平成 18 年 2 月 10 日発行 (月刊誌)

郡家コンクリート工業株式会社  
〒680-0427 鳥取県八頭郡八頭町奥谷 206-1  
TEL(0858)72-1154 FAX(0858)72-1614

## 『公共工事と会計検査』最新版

ライオン通信創刊からお世話になっている、元会計検査院技術参事官の安藝忠夫氏から『公共工事と会計検査』の最新版(平成 15 年度検査分)をいただきました。安藝氏はこれを公共工事に携わっている方々に広く読んでいただき、役に立てて欲しいとの願いから、ライオン通信に掲載することを快諾してくださっています。今月からシリーズで平成 15 年度の検査概要や平成 17 年度の検査の傾向などを掲載します。発注者、設計者の皆様にお役に立てば幸いです。



### 1. 指摘事例の分析と傾向

平成 15 年度の工事指摘件数は、不当事項で 17 件、処置済事項等を併せても 25 件と、前年に比べ少なくなっている。こうした指摘件数の減少が全体としての設計・積算の適正化あるいは施工不良の減少を示すということであれば大変結構なのであるが、そうともいえないのが実情といえよう。

工事関係の指摘件数が減少した理由としては、まず近年の公共事業投資額の大幅縮減があると考えられる。同時に、会計検査院が、近年、有効性の検査等に力を入れてきており、決算検査報告においても、特記事項あるいは特定検査状況に関する記述がかなり多くなっている。

したがって、工事検査を担当する各課においても、特定の事業あるいはテーマを対象とした全国横断の検査に相当な勢力を注いでいる。このことから、会計実地検査時には、従来に比べ、調査官による個別工事の設計・積算・施工などの検査に費やす時間が大分少なくなってきた。

ということから、会計検査院の指摘件数が減少しているにもかかわらず、公共工事に関して、発注者側の設計・積算業務や受注者側の工事施工の内容が必ずしも改善されてきているとはいえないのである。最新の 15 年度の検査報告で指摘された内容を見ると、初歩的・基本的なミスが目立つ。過去において、会計検査院が繰り返し指摘した事例と同様の案件が数多く掲記されている。



建設コンサルタントにおける設計の初歩的なミス、さらにそのミスを発注者が全くチェックできずにそのまま施工されている例や、表面的にも容易に判別できるような粗雑な施工不良の工事が発注者の検査で合格し、会計検査で指摘されているなどの例が何件も指摘されている。

つまり、指摘件数は減少しているが、昨今の公共工事の設計から施工各段階においては、さまざまな問題点を内包しており、今後の会計検査院の検査動向にもよるものの、指摘件数がすぐ大幅に減少する状況にはないとみなければならないだろう。

公共工事にとって、引き続き厳しい環境が続くなかで、発注側・受注側とも技術力の低下がいま大きな問題となっている。最近の会計検査院の指摘をみると残念ながらそうした状況が確実に進行しているとみなければならない。

有効な対策が早急に期待される場所である。

◆特集つづきます…

(1) 事態別の指摘一覧表

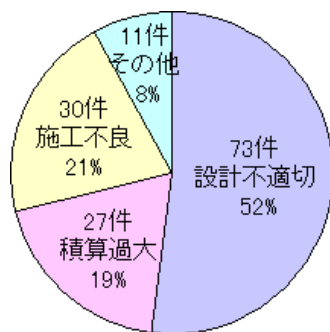
事態	年度	平成 8	平成 9	平成 10	平成 11	平成 12	平成 13	平成 14	平成 15	計
<b>不 当 事 項</b>										
設 計 不 適 切 等		7	8	6	6	8	10	18	10	73
積 算 過 大		5	3	3	4	1	5	1	5	27
施 工 不 良		2	3	5	5	6	3	3	3	30
そ の 他		2	2	2	1	2	1	1	0	11
小 計		16	16	16	16	17	19	23	(注) 17	140
<b>処 置 済、処 置 要 求 等</b>										
設 計 不 適 切 等		2	6	7	2	3	2	0	0	22
積 算 過 大		7	4	8	4	5	6	6	4	44
そ の 他		4	3	4	4	0	0	0	4	19
小 計		13	13	19	10	8	8	6	8	85
合 計		29	29	35	26	25	27	29	25	225

(注) 設計不適切と施工不良の複合で指摘しているものが1件ある。

(2) 指摘の割合 (平成8年度～15年度)

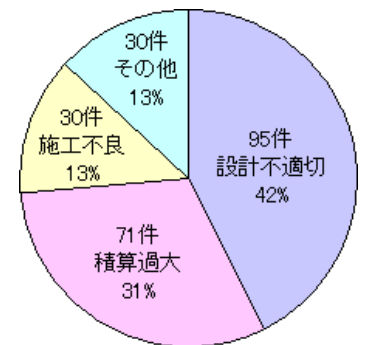
①不当事項8年間 (140件)

設計不適切	73件	52%
積算過大	27件	19%
施工不良	30件	21%
その他	11件	8%



②指摘全体8年間 (225件)

設計不適切	95件	42%
積算過大	71件	31%
施工不良	30件	13%
その他	30件	13%



(3) 年度別工種別一覧表 (平成8年度～15年度)

主な工種の年度別の指摘の変遷は次のとおりである。工種分類を途中で若干変更しているの、入り繰りはあるが、傾向は把握できる。14年度では、ため池の指摘が目立ったこと、またカルバートの指摘が、14・15年度と多くなっていること、さらに15年度に河川が4件と指摘が多かったことなどが特徴としてみられるといえよう。

工種	年度	平成 8	平成 9	平成 10	平成 11	平成 12	平成 13	平成 14	平成 15	計
橋 り よ う		1	3	3	5	4	3	3	3	25
カ ル バ ー ト		4	3	6	1	1	1	5	3	24
道 路		2	1	8	4	2	5	1		23
港 湾 ・ 空 港		4	2	4	2	4	1	2	2	21
下 水 道			2	3	5	2	2	2	2	18
河 川 ・ 海 岸		2	2	3	1		3	1	4	16
ダ ム ・ た め 池		4	2	2	1		3	4		16
法 面		3	2	1	3	2	1	1	1	14
建 築 ・ 住 宅		3	3	2	1		4	1		14
基 礎		1		2		3	5	2		13
電 気 ・ 通 信			3	4	1		2			10

いかがでしたでしょうか？次号からその具体事例について解説してまいります。  
どうぞお楽しみに(\*^^)v




**シオ**ちゃんの製品紹介コーナー
 

◆◆◆◆ **ボックスカルバート** ◆◆◆◆

今月は「ボックスカルバート」の製品情報をお届けします。この機会にぜひご検討ください。



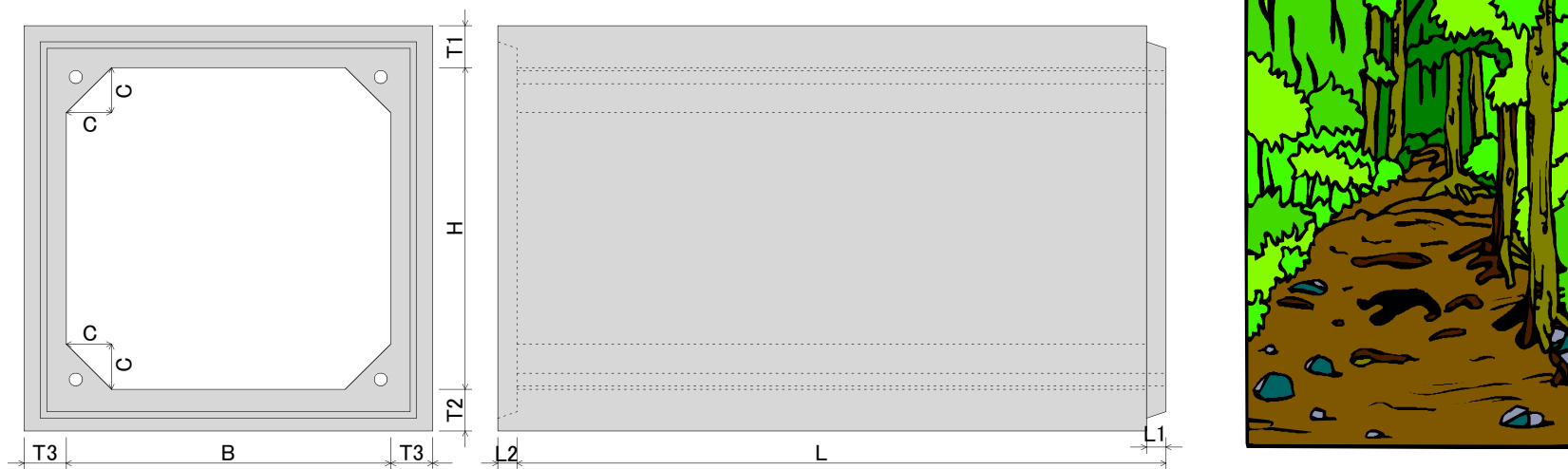
**特 長**

**土木・建築の広範囲に活用可能！**

- 従来現場打ちされていたものを、プレキャスト化し、小河川の道路横断部、山間部の排水路公共下水道、共同溝、地下道等に使用できます。
- 工場で製造した均一な製品を据付けるだけなので、現場打ちと比較して大幅な工機短縮が図れます。

■ この製品は日本興業株式会社の協力をいただいております。

**【製品図】**



**【製品サイズ:Nタイプ抜粋】**

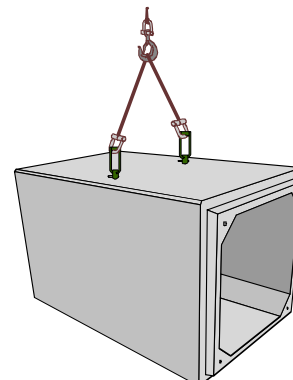
呼び名		規格寸法(mm)							参考重量 (kg)
内幅(B)	内高(H)	T1	T2	T3	C	L1	L2	有効長 (L)	
600	600	130	130	130	100	60	40	2,000	2,000
1000	1500	130	130	130	150	60	60	2,000	3,810

Nタイプでは対応出来ない規格寸法や設計条件にも対応いたします。  
一部リサイクル製品で対応できない規格もありますのでお問い合わせください。

**寸 法 表**

上記サイズのほかに各種サイズ・タイプあります。  
お問い合わせください。

製品関連電話: **0858-73-0500**



◆製品紹介コーナーつづきます…

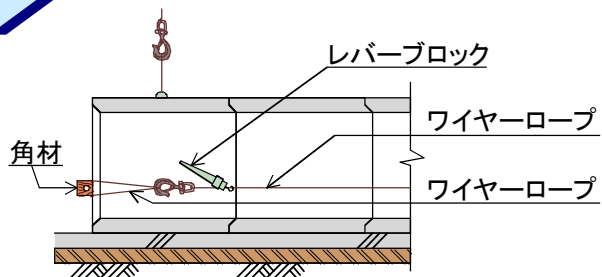


製 品



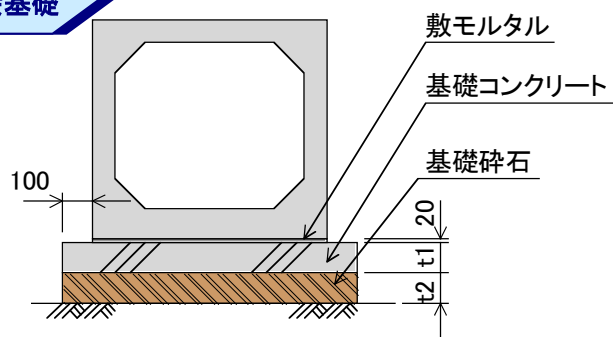
施 工 中 の 様 子

施工方法



■ 通常敷設は、図に示すようブロックの継手部の凸凹を利用して接合するもので、ブロック相互の縦方向の連結は行なわない敷設方式である。基礎地盤の良好な場合に用いるものとする。  
 地盤が良くない場合、地下水位が高い場合、道路横断部桁として考える場合、曲線部、屈折部 等は PC 鋼材またはボルトにて連結を行なうのがのぞましい。

直接基礎



■ 普通地盤の場合は、砕石を敷均した上に基礎コンクリートを打設した基礎形式とする。なお、基礎の形状および厚さは上記を目安とする。

規格名称	t1	t2
600 × 600	100	150
1000 × 1000		

【施工歩掛り/10m 当り】

名 称	規 格	製品重量(kg)			単 位	摘 要
		1000-2000 <sup>未</sup> <sub>満</sub>	2000-4000 <sup>未</sup> <sub>満</sub>	4000-6000 <sup>未</sup> <sub>満</sub>		
コンクリートブロック	L=2000	5.0	5.0	5.0	個	■1ブロックを1部材で構成する場合であり、PC 鋼材による歩掛りは含まない。また、掘削、基礎(敷モルタル・基礎砕石)、埋戻しも含まない。 ■敷モルタル、敷砂は別途計上。 ■左表は直線部の歩掛りであり、曲線部については 50%増しとする。
世話役		0.2	0.3	0.5	人	
特殊作業員		0.5	1.0	1.6	人	
普通作業員		0.4	0.8	1.4	人	
トラッククレーン		0.2	0.3	0.5	日	
諸雑費率		1.0	1.0	1.0	%	

◆ ボックスカルパート をご紹介しました



◆ 次回は紙面の都合上このコーナーはお休みとなります ◆

◆ さらに詳しい製品情報はホームページをご覧ください

⇒ [http://www.kooge.jp/product\\_c6\\_1.asp](http://www.kooge.jp/product_c6_1.asp)

◆ 製品に関するお問い合わせ☆資料請求は

郡家コンクリート工業株式会社まで(^\_^)~

〒680-0427 鳥取県八頭郡八頭町奥谷206-1

E-mail : [info@kooge.jp](mailto:info@kooge.jp)

直通電話: **0858-73-0500**

■ □ 編集後記 □ ■

今年は雪が早く 12 月の雪が溶けないまま根雪になってしまい、現場に携わっている方々は工期との勝負で大変だと思います。当社でも出荷予定が大幅に狂い、工場には出荷待ちの製品が溜まってきています。  
 発注機関や設計会社の皆さんにも影響が出ていると思いますが、今年度も残り 50 日程になりました。良い新年度が迎えられよう、もうひと頑張りしましょう。(山根)

<URL><http://www.kooge.jp/>

<e-mail>[info@kooge.jp](mailto:info@kooge.jp)